

2024年度(令和6年度)新体力テストの結果

児童質問紙(第5学年)

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
男子	60.6	33.3	3.0	3.0
女子	54.3	25.7	8.6	11.4

体育の授業は楽しいですか

	楽しい	やや楽しい	やや楽しくない	楽しくない
男子	66.7	33.3	0.0	0.0
女子	65.7	17.1	11.4	5.7

運動やスポーツをどのくらいしていますか(体育の授業をのぞく)

	週に3日以上	週に1~2日くらい	月に1~3日くらい	しない
男子	48.5	42.4	6.1	3.0
女子	40.0	34.3	20.0	5.7

体力・運動能力(第5学年)

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点		握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	16.35	16.82	30.12	37.62	42.94	9.27	154.03	19.03	50.44	女子	16.48	19.15	33.88	34.21	35.64	9.81	152.44	12.35	52.61

県平均値かつ全国平均値未満

重点課題および要因

情意面

・「運動やスポーツをすることは好き」の男子の肯定的な回答は9割超、女子の肯定的な回答は8割である。全国平均、県平均共に上回る数値である。しかし、女子の否定的な回答は2割ほどあり、これは「体育の授業は楽しいですか」という項目の否定的な回答に比例する結果となっている。これにより、「苦手」=「スポーツが嫌い」になっていることがうかがえる。

体力面

・昨年度の結果と比較して多くの項目が全国・広島県の平均を下回っている。特に男子の上体起こし、女子の長座体前屈のポイントが平均を大きく下回っている。筋持久力と柔軟性が課題である。
・筋持久力の低下は5年生児童の実態から、外遊びをしている児童の少なさに要因があると考えられる。また、継続的な運動の確保がなされていないことが柔軟性のポイントが低い要因であると考えられる。

重点課題等に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

・アンケート結果より「苦手」=「スポーツが嫌い」ではなく、苦手だけど体を動かすことは好き、嫌いではないといった児童を育てる授業づくりをしていくことが必要であると思われる。授業始めに児童が楽しいと思える運動遊びを取り入れる。

体育の授業以外で行う取組内容

・単元の進め方を考えたり、学年間の単元構成を見直し、系統性をもたせたカリキュラムマップの改善を進めていく。
・体育委員会等で体を動かす企画を行い、体を動かすことの楽しさを知る機会をつくる。

2025年度(R7年度)の重点目標値

・男子は「上体起こし」、女子は「長座体前屈」の数値を県平均かつ、全国平均以上にする。(男子:20回、女子39cm)
・「体育の授業は楽しいですか。」の肯定的な評価を男女ともに90%以上にする。